

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		簡易点検	
事務事業名 堺市茶室活性化事業		シート番号		A 一般事務事業	
担当部署名 文化観光 局 博物館 部 学芸 課		評価責任者(課長名)		増田	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 30 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市茶室条例			
	4	関連計画	自由都市堺文化芸術推進計画			
5	事業実施の経緯	平成30年10月1日に制定された「堺茶の湯まちづくり条例」にあわせて、条例にかかる具体的施策として、堺市茶室の利用を促進するために実施する				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()	
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	茶の湯文化をはじめとする堺の歴史文化に関心のある市内外の方々。	
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	国の登録有形文化財である堺市茶室「伸庵」「黄梅庵」の利用を促進する。	
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・堺市茶室「伸庵」「黄梅庵」の内装等の改修を行う。 ・令和元年度は茶の湯体験学習プログラムを実施する。	
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()		

Ⅲ. 投入量

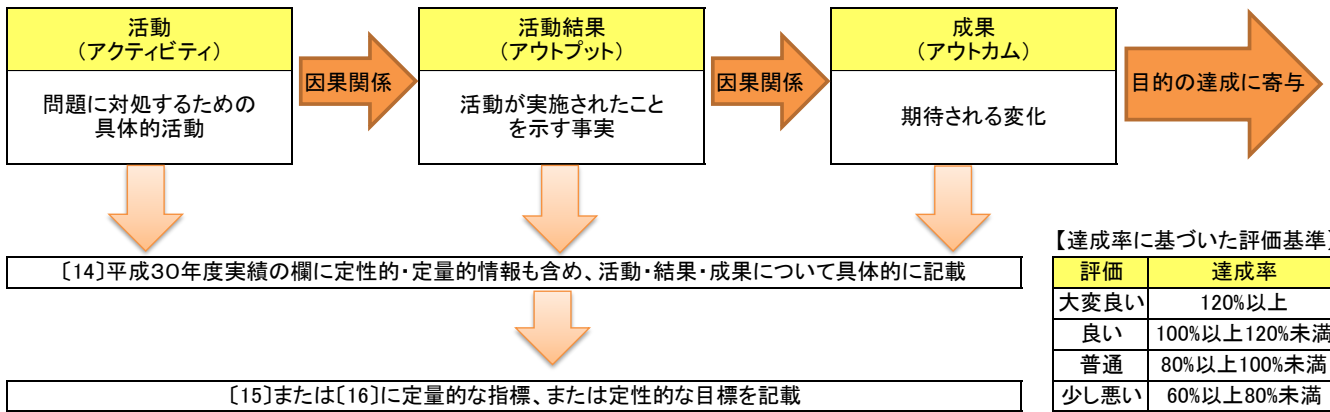
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	0	0	1,239	5,720	
	主な事業費内訳	修繕料	千円			1,239	2,500
		委託料	千円			0	3,220
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	一般財源	千円			1,239	5,720	
	12 人件費 (b)	千円	0	0	2,460	4,560	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	3,699	10,280		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺市茶室活性化事業	シート番号	08-46
-------	-----------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	○堺市茶室「伸庵」「黄梅庵」の改修						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		茶室の利用者数	人	目標値	10,000	11,000	11,000	11,000
				実績値	10,374	9,531	10,212	
				達成率	104%	87%	93%	
	評価		良い	普通	普通			
	算出方法・設定根拠など		年度計画を100%とし、それに対する修繕業務を実施した割合					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				目標値				
				実績値				
				達成率				
	評価							
	算出方法・設定根拠など							

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	計画していた改修を進めたが、台風21号により新たに大きな被害が発生し全てを完了することはできなかった。また、そのため、茶室を利用した事業は実施できなかった。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。